令和３年度　第４１回卒業証書授与式　学校長　式辞

あたたかな春風に誘われて、校庭の桜のつぼみもほころび始めました。
卒業生の皆さん、中学校卒業おめでとうございます。みなさんの中学校卒業を、学校長として、最大限の言葉でお祝いします。
ご参列いただきました保護者のみなさま、お子さまの卒業、誠におめでとうございます。心からのお祝いを申し上げます。
先ほど本年度卒業生一人ひとりに中学校教育課程を修了したことの証となる卒業証書を授与いたしました。卒業証書を受け取るみなさんの顔には、義務教育９ 年間の学びを得て、立派に成長した自信と誇りが感じられました。本年度の深谷中学校卒業生は、132人です。開校41年で深谷中学校の卒業生は、7，532人となりました。
卒業生のみなさんは、小学校１年から始まった義務教育の全ての教育課程をすませて、今日という日を迎えています。
９ 年前のことを覚えているでしょうか？初めての小学校、何もかもが新しく、先生や友だちと始めた学校生活。6年間の小学校生活では、集団の中での生活の仕方を中心に、勉強や友だちとの交流を深めました。
中学校に進学してからは、それまでの友だちに加えて、さらに新しい友だちに出会い、学校では、教科ごとに専門の先生が担当して学びも進化するという経験も重ねました。
『心身を鍛え、自ら思いをもって、生き抜く！』という深谷中学校の目標実現に向け、日々の生活を友だちと共にまじめに送る姿は、本当に輝かしいものでした。みなさんが友だちと一緒に過ごした時間の中で、感じたこと、考えたこと、手に入れたものは、たくさん、たくさんあったことでしょう。
ただ、新型コロナウィルスの影響で、修学旅行はじめ様々な学校行事が中止になり、中学校生活での貴重な経験を思う存分させてあげられなかった事をとても残念に感じています。中学校生活の３分の２以上を、コロナによって様々に制限を受けてしまった中学校生活でした。
それでも、限られた時間の中でも、学校での生活を有意義に過ごし、一つでも多く思い出を作ろうと過ごしている姿には頭が下がりました。
我慢を強いられた中学校生活でしたが、みなさん一人ひとりは確実に成長し開校41周年を迎えた深谷中学校の歴史に、確かな足跡を残してくれました。

世界中が新型コロナウィルスに翻弄され始めてから足かけ３年が経過しています。まだしばらくは、我々人類がコロナと向き合う日々が続きそうです。
つい3年ほど前までは、世の中はどんどん発展して豊かになっていくものだ、

との思いが強かったものです。その思いや価値観を、まさに新型コロナウィルスがひっくり返してしまいました。物に満たされていた賑やかな時代から、少し静寂の時代へと移り変わってきている、と捉えることが出来ます。
しかし、そのような状況だからと言って、何もネガティブになることはありません。こういう時こそ、何事も前向きに考えて知恵を出し合って、行動することが大切だと、私たちは学びました。
『ピンチはチャンス！』
物事の見方を変えれば、今回のこの出来事は、新しい時代への変革を予言しているのかも知れません。この経験は、みなさんのこれからの長い人生の中での大きな糧となることでしょう。そして必ずや、みなさんの人間としての幅を広げてくれることでしょう。
　中学校を卒業して、それぞれの道を歩き始めることになりますが、今までと同じように、周囲の人と気持を一つにして、この困難を乗り越えていきましょう。
卒業にあたり、もう一つお話しをさせて頂きます。
それは、『他人に対して優しい人間になって欲しい』ということです。
優しさは強さです。本当に強い人とは、他人に対して優しくなれる人だと、私は信じています。他人の欠点ばかりを責めたり、他人を押しのけて自分の利益を最優先に考えたりする最近の世間の風潮には、憂いを感じずにはいられません。
みなさんも、これまでの学校生活でつらい経験をしたことがあったでしょう。実は、自分がつらい経験をした人ほど、あとあと他人の苦しさがわかる優しい人になるのです。
他人のつらさがわかる分、同じ境遇の他人に対して優しくなれるはずです。
４ 月からの新しいステージでは、もしかしたら自分自身がつらい思いをすることが待ち受けているかも知れません。その時は、深谷中学校の卒業生として、これまで乗り越えてきた経験を生かし、たくましく、そして困っている他人には優しく接してください。他人に対して優しさをもつ人間には、困った時には必ずや手を差しのべてくれる誰かが現れるはずです。

保護者のみなさまへ。
改めましてお子さまの中学校卒業、おめでとうございます。お子さまの在学中、深谷中学校の教育活動にご理解ご協力を賜りましたことに教職員一同心から感謝いたします。
　お子さまは、さまざまな経験を積み重ね、そして困難を乗り越えて立派に成長されています。
　お子さまが中学校在学期間に、新型コロナとその感染拡大という局面に遭遇されて、ご家庭でも大変な思いをなさったのではないかと案じておりました。
　そのような大変厳しい状況の中でも、今年度も、感染予防へのご協力をいただきながら保護者のみなさまの参列のもとに、卒業証書授与式を挙行できること

をとてもうれしく思います。
いつくしみ育まれたお子さまは、たくさんの人々の愛情を受けて、そして見守られて義務教育を修了し新たなステージに立ちます。お子さまの人生はこれからが本番です。お子さま、ご家族のみなさまの益々のご健康とご健勝を、本日の佳き日に合わせ、お祈りいたします。
また、地域の町内会・自治会からもお祝いをいただいておりますので、あわせてご紹介させていただきます。

PTA の役員や委員のみなさまには、新型コロナでいろいろと制限があるにもかかわらず、子どもたちの為にさまざまに活動していただきました。コロナ禍という時勢を考慮のうえ、持続可能な今後の深谷中学校PTAの新しい姿を構築し、新年度からの活動の大胆な改善に取り組んでいただきました。この新しい活動方針や活動方法は、今後、他の学校へも大きく影響を与えるものと確信しております。本当にありがとうございました。

　卒業生のみなさん、今日から深谷中学校はみなさんの母校になります。
みなさん一人ひとりの輝く未来に向かって、ここ深谷中学校で過ごした日々の経験を心の糧にして、胸を張って誇り高く、羽ばたいて行ってください。
みなさんのこれからの人生がたくさんの幸せにあふれることを祈りながら、
私からの結びの言葉です。

卒業おめでとうございます。
　　そして、母校深谷中学校から、行ってらっしゃい！

令和4年３月9日　横浜市立深谷中学校長　榎田卓央